

# 日本高血圧学会認定 高血圧専門医制度

## 高血圧専門医**本申請書類**

### 作成の手引き

(受験者分類 旧B, 旧C,  
新B, 新C, 新D 用)

#### － 書類の種類と書式との対応 －

#### 甲書類

- ①専門医申請書……………甲セット P.1
- ⑯受講報告書（兼 受講指示書）
- ⑰-1 総会セッション受講証明書
- ⑰-2 Web 講座受講修了書
- ⑫日本高血圧学会総会出席記録……………甲セット P.2
- ⑬家庭血圧測定推進誓約書………甲セット P.3
- ⑭禁煙誓約書………甲セット P.4
- ⑮写真票………甲セット P.5
- ⑯宛名記載済の旧官製はがき（額面 85 円のもの）

#### 乙書類

- ⑧受持ち患者症例一覧表……………乙セット P.1-3
- ⑨受け持ち入院患者症例抄録……………乙セット P.4-8
- ⑩研究業績目録……………乙セット P.9
- ⑪講演参加レポート……………乙セット P.10 または単独書式

**【ご注意】本「作成の手引き」は以下の受験者分類の方（事前申請済の方）用です。**

### 受験者分類の略称について

※以下の受験者分類の略称は、[https://www.jpnsh.jp/specialties\\_n1.html](https://www.jpnsh.jp/specialties_n1.html) にある保有内科医資格別の概要説明資料の

図1「受験者の分類」に従うものです。

保有内科医資格 (概要説明資料 タイトル)	受験者の 分類 (図1)	略称	研修期間などの条件	事前 申請
① <b>内科学会認定 内科医 (旧制度) の場合</b>	B)	旧 B)	A)以外で教育責任者が在籍する施設で勤務中、研修期間は不問 (内科領域学会認定サブスペ専門医を有する)	済
	C)	旧 C)	A)以外で教育責任者が在籍しない施設で勤務中(開業医など)、研修期間は不問 (内科領域学会認定サブスペ専門医を有する)	済
② <b>専門医機構認定 内科専門医 (新制度) の場合</b>	B)	新 B)	高血圧学会認定施設で高血圧指導医の指導を受けた期間が1年以上3年未満 (内科専門医研修は3年以上)	済
	C)	新 C)	内科専門医研修および「関連サブスペ専門医*」研修4年以上 (高血圧学会認定施設以外または高血圧学会認定施設でも高血圧指導医の指導なし)	済
	D)	新 D)	内科専門医研修期および非「関連サブスペ専門医*」研修5年以上 (高血圧学会認定施設以外または高血圧学会認定施設でも高血圧指導医の指導なし)	済

\* 「関連サブスペ専門医」：循環器専門医、腎臓専門医、内分泌代謝・糖尿病内科専門医、老年科専門医

## 甲書類

### ①専門医申請書

- 写真は⑯写真票と同一の写真を貼ってください。サイズは事前申請のものとは異なります。
- 写真は画像データをワードの書式に挿入するのではなく、印刷後の書式に鮮明な証明用写真を貼付してください。写真に関するその他の注意事項は「写真票」左側の記載に従ってください。
- 「申請者氏名」は印刷後の書式に自署のうえ、「印」と記載されている箇所に忘れずに押印してください。
- 「会員番号」は当学会からのメールや会費請求書に記載がございます。
- 「入会年月日」は会員専用サイト：<https://www.jpnsh.jp/member/login.php> にログイン後、右端メニュー上位の「〇〇様のページ」をクリックしてご確認ください。会員専用サイトログイン時の ID は会員番号。パスワードをお忘れの場合、誕生日、メールアドレス等をご入力いただければ再設定可能です。
- 「受験者分類」は後掲の「受験者分類の略称について」をご参照ください。
- 「事前申請番号」（該当者のみ）は専門医制度委員会より未修単位 0 の方にもメール送付した「受講指示書」に記載した番号をご記入ください。

### ⑯受講報告書（兼 受講指示書）

- 事前申請者にメールにて送付（第一次受付者：2025 年 8 月 29 日、第二次受付者：2025 年 9 月 11 日）した「受講指示書 兼 受講報告書」に「未修単位数 0」の記載があった方は、本書類および⑰-1、⑰-2 を提出する必要はありません。
- 上記「受講指示書 兼 受講報告書」に「未修単位数 1 以上」の記載があった方は、PDF（第一次受付の該当者には 2025 年 9 月 5 日に PDF 版を再送付）をダウンロードのうえ印刷し、右側の受講日記入欄に該当する講義を受講した年月日を記入してください。また、それぞれの講義の⑰-1 「受講証明書」または⑰-2 「受講修了書」（下記参照）を別紙として添付してください。「受講証明書」または「受講修了書」には通し番号（①、②など）を右肩の空白部分に自筆で記入し、受講報告書の「対応別紙 No」欄にその番号を記入してください。

### ⑰-1 総会セッション受講証明書

- 第 47 回総会の指定セッション会場前受付にてお渡しした「受講証明書」を⑯の書類といっしょに別紙として添付してください。オンデマンドで視聴した方は、視聴ログ記録があるので添付不要です。

### ⑰-2 Web 講座受講修了書

- 専門医受験者向け Web 講座において、各講義の修了テスト合格後に視聴画面よりダウンロードできます。（Web 講座につきましては、<https://jsh-specialist.org/> をご参照ください。）

## **⑫日本高血圧学会総会出席記録**

- 申請時過去5年間以内の参加証コピーを貼付してください。

## **⑬家庭血圧測定推進誓約書**

- 氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に押印してください。

## **⑭禁煙誓約書**

- 氏名を自署のうえ、「印」と記載されている箇所に押印してください。

## **⑮写真票**

- 写真は「専門医申請書」と「写真票」の二か所に貼付枠があります。どちらにも同一の写真を貼ってください。サイズは事前申請のものとは異なります。
- 写真は画像データをワードの書式に挿入するのではなく、印刷後の書式に鮮明な証明用写真を貼付してください。特に「写真票」の写真は本人確認に用いますので、左側の注意事項に従つたものをご用意ください。

## **⑯宛名記載済の旧官製はがき（額面85円のもの）**

- 裏面を「受験番号通知書」として使用します。表面に必ず送付先住所、受取人（受験者）氏名を前もって記入しておくこと。

## 乙書類

### ③受持ち患者症例一覧表

- 詳細は「高血圧学会認定専門医申請時の診療実績」およびQ&Aをご参照ください。  
[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/experience\\_n.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/experience_n.pdf)  
<https://www.jpnsh.jp/data/specialties/qa.pdf>
- 下記20症例の実績を症例の種類毎に指定された欄にご記入ください。
- 二次性高血圧には、原因となった疾患名を診断名に記載のこと。

#### ◆本態性高血圧症例 10症例

糖尿病合併	1 症例必須	二次性高血圧に登録の症例を除く
脂質異常症合併	1 症例必須	
脳血管障害合併	1 症例必須	
虚血性心疾患合併	1 症例必須	
心不全合併	1 症例必須	
腎障害合併	1 症例必須	二次性高血圧に登録の症例を除く
その他合併症	4 症例	高尿酸血症、心肥大、大動脈瘤、慢性閉塞性動脈硬化症などのいずれかの合併症を有している症例

#### ◆二次性高血圧症例 8症例

腎性高血圧 糖尿病性腎症 1 症例必須 慢性糸球体腎炎 多発性囊胞腎など	2 症例以上（糖尿病性腎症を含む）
内分泌性高血圧 原発性アルドステロン症 褐色細胞腫 クッシング症候群など	1 症例以上
腎血管性高血圧 線維筋性異形成 粥状動脈硬化 大動脈炎症候群など 脳・中枢神経性高血圧 脳血管障害急性期など 心・血管性高血圧 大動脈縮窄症 大動脈炎症候群 大動脈弁逆流など	2 症例以上（腎血管性高血圧、脳・中枢神経高血圧、心・血管性高血圧のうち 2 以上のカテゴリーから）

薬剤誘発高血圧 非ステロイド系抗炎症薬 糖質コルチコイド 甘草など	1 症例以上
その他 OSA（閉塞性睡眠時無呼吸症候群）など	選択は任意

◆高血圧緊急症（切迫症）またはⅢ度高血圧 1 症例

高血圧緊急症（切迫症） またはⅢ度高血圧	1 症例
-------------------------	------

◆低血圧・起立性調節障害 1 症例

低血圧・起立性調節障害 起立性低血压 食後低血压 神經調節性失神など	1 症例
---	------

※書き方は、次ページの 記入例 を参照してください。

# 記入例

## 高血圧専門医認定試験 受け持ち患者（入院または外来）一覧表（2）

ふりがな				会員番号
氏名				

症例 No.9	その他 合併症	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	11111111
		診断名	#1 本態性高血 #3 心肥大	#2 末期腎不全 #4 下肢閉塞性動脈硬化症	
症例 No.10	その他 合併症	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	22222222
		診断名	#1 本態性高血 #3 2型糖尿病	#2 末期腎不全 #4 高尿酸血症	

### ◆二次性高血圧症例 8 症例

症例 No.11	糖尿病 性腎症	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	33333333
		診断名	#1 腎性高血圧 #3 末期腎不全	#2 糖尿病性腎症 #4 うつ病	
症例 No.12	その他 腎性高 血圧	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	44444444
		診断名	#1 腎性高血圧 #3 右腎囊胞感染	#2 多発性囊胞腎 #4	
症例 No.13	内分泌 性高血 圧	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	55555555
		診断名	#1 内分泌性高血 #3 2型糖尿病	#2 原発性アルドステロン症 #4 慢性腎臓病	
症例 No.14	注 1	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	66666666
		診断名	#1 脳中枢神経性高血圧 #3 末期腎不全	#2 左視床出血 #4 2型糖尿病	
症例 No.15	注 1	施設名	○○大学病院	診療科名	○○科
		在籍期間	20XX.04.01～20XX.03.31	患者ID	77777777
		診断名	#1 心・血管性高血 #3 うつ血性心不全	#2 強皮症腎クリーゼ #4 末期腎不全	

注 1：腎血管性高血圧、脳・中枢神経高血圧、心・血管性高血圧のどれか（No.14 と No.15 はは別のカテゴリー）

抄録 5 例で記入する症例番号に○を付ける

## ⑨受け持ち入院患者症例抄録（5 症例）

- 抄録は⑧「受持ち患者症例一覧表」の高血圧 20 症例から二次性高血圧\*を少なくとも 1 例を含む入院患者 5 症例を選択して作成し、抄録に選んだ症例は受持ち患者症例一覧表に○印をつけること。  
\*考察では二次性高血圧と診断した理由についても触れること。
- 抄録はポイントを簡潔に記載し、できるだけ 1 枚にまとめてください。
- 「入院後経過」には入院中の血圧管理状況に言及すること。
- 「考察」では血圧（あるいはその経過）に関しエビデンスなど引用文献を明記してしっかりと考察すること。二次性高血圧については、二次性高血圧と診断した理由についても触れてください。
- 抄録は A.良, B.可, C.不可の評価を行い C 評価の場合は修正を求めます。

※書き方は、次ページの 記入例 を参照してください。

## 記入例

二次性高血圧  
1例は必須

受け持ち患者一  
覧表の症例番号

### 高血圧専門医認定試験受け持ち入院患者抄録（症例 1）

がな	こうけつあつ たろう	会員番号
氏名	高血圧 太郎	

【必須：二次性高血圧】受け持ち患者一覧表 No. 13

患者性別：男性

年齢： 50 歳代

入院年月日：20XX.XX.XX

退院年月日：20XX.XX.XX

主治医：高血圧太郎

(受け持ち期間： 20XX 年 4 月 1 日～20XX 年 4 月 10 日)

症例 1～5 を  
作成する

1. 診断：

2. 主訴：

3. 既往歴：

4. 家族歴：

5. 嗜好・生活歴：

6. 現病歴：

7. 入院時現症：

8. 検査成績：

9. 入院後経過：

10. 退院時処方：

血圧管理状況に  
言及する

11. 考察：

12. 文献：

血圧（あるいはその経過）に関しエビデンスなど引用文献を  
明記してしっかりと考察する  
二次性高血圧については、二次性高血圧と診断した理由に  
ついても触れること

## ⑩研究業績目録

- 申請時過去 5 年以内（留学期間は除く）の
  - 1) 高血圧学会総会における発表
  - 2) 高血圧に関する症例報告を含む論文
  - 3) 高血圧学会総会または高血圧フォーラムのシンポジウム、教育講演、症例検討セッションの講演参加レポートの中から、いずれか計 2 件を記載してください。その組み合わせは問いません。
- 1)のみで 2 件の場合「うち 1 件は筆頭演者」、2)のみ 2 件の場合「うち 1 件は筆頭著者」、1)と 2)各 1 件の場合「うち 1 件は筆頭演者または筆頭著者」でなければなりません。1)または 2) 1 件と 3) 1 件の組み合わせの場合は、1)または 2) は「筆頭演者または筆頭著者」でなくてもかまいません。
- 高血圧学会総会発表の場合、開催回、開催年、演題名、演者氏名（全員、本人には下線）を記入する。
- 論文発表の場合、論文名、著者名（全員、本人には下線）、掲載誌、巻、ページ、発行年を記入する。タイトル名からだけでは高血圧に関する研究であるか明確でない場合は、抄録や論文のコピーを同時に提出してください。
- 講演参加レポートの場合、学術集会名、セッションのタイトルを記入する。併せて「本申請書類⑪」によるレポート本文を提出してください。また、現地参加の場合は参加証明書コピーを添付してください（本申請書類⑫と兼用可）。

## ⑪講演参加レポート

- 高血圧フォーラム 2026、第 47 回高血圧学会総会にて開催された対象セッションの「課題テーマ」は以下を参照ください。

[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme\\_forum2025.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme_forum2025.pdf)

[https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme\\_soukai2025.pdf](https://www.jpnsh.jp/data/specialties/theme_soukai2025.pdf)

- 各レポートは 800 字程度にまとめてください。
- 査読した後、業績に値するか判断します。不完全な場合には修正を求めることがあります。